

## 1. 内外政

- ・23日、レアンカ首相代行は、共産党は一定数の活動家が離党したことで過激さが低下しており、現在ではモルドバの欧州統合路線を支持しており、議会活動において共通の目的を見つけることは可能である旨発言。
- ・24日、ヴォローニン共産党党首は、自由民主党及び民主党とは議会内協力に向けて対話を行う準備があるが、自由党と社会党とは行わない旨発言。
- ・29日、フィラト自由民主党党首及びディアコフ民主党名誉代表は、1月中旬までには与党連合が結成されることを期待する旨発言。
- ・29日、新議会が開催され、各党派が結成。
- ・6日、ディアコフ民主党名誉党首は、自由党との与党連合結

成に賛成だが、同時に共産党との協力形態も模索を希望している旨発言。ギンブ自由党党首は、与党連合結成に向けた会合は進展がない旨発言。イヴァノヴァ共産党会派長は、共産党は種々の問題解決に向け他会派と議論する準備がある旨発言。

## 2. 経済

- ・22日、財務省は、本年12月最初の時点で、国家予算の歳入が245億4,500万レイ(15億6,300万ドル相当)であり、計画された額より1.7%減少(昨年同時期比では23%増加)、また歳出額は259億4,600万レイ(10億6,500万ドル相当)であり、計画された額より10.7%減少(昨年同時期比で26.4%増加)した旨報告。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。  
(了)